

2026年5月25日

国内電通グループ、新戦略「AI For Growth 3.0」のもと統合AIプロダクトを提供開始 — 電通の実践知に基づく専門AI群を、企業のマーケティング活動に実装・運用へ —

国内電通グループの4社（電通、電通デジタル、電通総研、イグニション・ポイント）は、“人間の知（=Intelligence）”と“AIの知”を掛け合わせて顧客や社会の成長に貢献する独自のAI戦略^{*1}を「AI For Growth 3.0」へと刷新します。AI活用をビジョンや一部業務での活動にとどめず、当社グループがマーケティング領域で培った長年の実践知を組み込んだ複数の専門AIを、企業向けに実装・運用する取り組みを始めます。専門AI群を企業の実際の業務プロセスに実装することで、継続的な価値創出に貢献します。その中核として、企業のマーケティングプロセス全体を横断的に支援する統合AIプロダクトシリーズ「AI For Growth Suite」の提供を本日開始します。



AI For Growth Suite

現在、AI活用は構想や検証の段階を終え、実際の業務プロセスにどのように組み込み、成果につなげていくかが問われる「実装」のフェーズへと移行しています。その一方で、汎用的なAIを導入するだけでは、企業意思決定や事業成長に直結する活用には限界があることも明らかになってきました。AI活用は今、汎用性の追求から、専門性と質を備えたAIを実際の業務にどう根付かせるかという段階に進んでいます。さらに、こうした専門AIを単体で活用するだけでなく、AI同士が連携し、自律的に業務を担っていく仕組みの重要性も高まっています。特にマーケティング領域では、生活者理解やブランド価値、クリエイティビティ、メディアプランニングといった高度な専門性や判断が求められるため、AIにも業務や文脈に即した設計と運用、すなわち実践で活躍する「専門AIエージェント」の存在が不可欠となっています。

このような時代認識の中、新たに打ち出したAI戦略が「AI For Growth 3.0」です^{*2}。新戦略では、当社グループの長年の専門性や実務知見をAIに組み込み、企業意思決定や価値創出を支える「マーケティング専門AI」の開発・提供と、その実装・活用を中核に据えています。その基盤となるのが独自の「PSDCAモデル」^{*3}であり、従来のPDCAに複数の選択肢や結果を予測するシミュレーション（Simulation）を組み込んでいます。このPSDCAを実現するためのdentsu Japanの2つのエンジンが、思考や構想を担う「Creative Thinking Model」^{*4}と、人の行動や価値観を捉える「People Model」^{*5}です。これらは企業のマーケティング業務全体を横断的に高度化します。

AI For Growth の系譜

- 1.0：“人”と“AI”の知を掛け合わせる、成長を生むAI活用ビジョンを提示
- 2.0：AIアセットを深化させて、マーケティングのAIネイティブ化を推進
- 3.0：国内電通グループの実践知を組み込んだ専門AI群が、企業のマーケティング活動に実装

こうしたAIアセットを具体的な形として新たに展開するのが、企業のマーケティングプロセス全体を横断する統合AIプロダクトシリーズ「AI For Growth Suite」です。本シリーズでは、これまでに開発・活用してきたマーケティング領域のAIや新たに開発した機能を統合し、調査・戦略立案・企画・実行・改善といった一連のマーケティング業務をPSDCAモデルで運用します。

併せて、AIソリューションの実装力を支える「開発体制」「人財基盤」を強化しています。電通総研に新設した「AI開発センター」^{※6}を中心に、企業の業務や事業に直結するAIソリューションを迅速に開発・提供し、約1000人の専門人財を擁する「dentsu Japan AIセンター」^{※7}が当社グループのAIネイティブ化と、企業のAIソリューションの導入・定着・高度化を横断的にリードしています。また、ガバナンス体制も整備しており、当社グループのグローバルなAI利活用指針である「電通グループAI原則」およびdentsu Japan 共通ガイドラインに基づき、AIサービスの提供を実現しています。提供するすべての専門AIは、最終的な判断・意思決定を人間が行うことを前提に設計しており、当社グループの専門家組織「AIガバナンスコミティ」によるリスク管理も継続的に行う体制を整えています。

■「AI For Growth Suite」概要

「AI For Growth Suite」は、当社グループの長年の実践知を組み込んだ複数の「専門AIツール」と、AIエージェントプラットフォーム、データ統合・分析基盤によって構成される「統合AIプロダクトシリーズ」です。1億人規模の高解像度なAIペルソナを基にした仮想定量調査で生活者理解を支援する「People Research」^{※8}や、特定のAIペルソナとのデプスインタビューや対話を通じてインサイト抽出を行う「Talk」^{※9}、商品企画を行う「Product Planning」、アイデア創出を加速する「Flash」、戦略立案を支援する「Plot」、メディアプランニングを担う「Media Flow」など、マーケティング業務の各工程に対応した「専門AIツール」をSaaSとして提供します。さらにAIエージェントプラットフォーム「Canvas」^{※10}には、10種類のマーケティング専門AIエージェントがあらかじめ組み込まれており、SaaS提供だけでなく、企業が既に利用しているさまざまなAIツールから当社の専門AIエージェントをAPI経由で呼び出して利用できる機能もあります。これらのプロダクトが、調査・戦略立案・企画・実行・改善といった業務プロセスの多くを担うことで、企業のマーケティング活動における意思決定と実行を実践フェーズで支援します。こうしたプロダクトを活用しながら、企業のAI変革に伴走・支援する専門的なサービスを提供していきます。

AI For Growthプロダクト&サービス提供



[人とAIが高めあうマーケティング AI For Growth](#)

■異なる業務システム・AIツール間の連携のための環境基盤「Marketing Agent Protocol」

こうした専門AIエージェントの実践的な活用をさらに高度化するため、AI同士が連携して質の高い成果を生み出すための環境基盤として「Marketing Agent Protocol」の整備も開始しました。マーケティング調査、企画、制作、配信といった各工程において、AIエージェントが扱う情報や役割、判断基準を共通化する仕組みです。複数のAIが同じプロトコルのもとで連携することで、マーケティング業務全体の質を高めることを目指しており、将来的には、異なる業務システムやAIツール間の連携も視野に入れており^{※11}、既にも実証実験を開始しています。

今後も当社グループは、独自のAI戦略である「AI For Growth 3.0」を基盤に、人とAIが共に進化する仕組みの実装により、顧客の競争力強化と社会全体の持続的な成長に貢献していきます。



国内電通グループは、“人間の知 (=Intelligence)” と “AIの知” の掛け合わせによって、顧客や社会の成長に貢献していく独自のAI戦略「AI For Growth」を推進しています。

AI For Growthについては、以下ウェブページをご確認ください。
https://www.dentsu.co.jp/labo/ai_for_growth/index.html

- ※1 国内電通グループの独自のAI戦略「AI For Growth」
https://www.dentsu.co.jp/labo/ai_for_growth/index.html
- ※2 2024年8月5日発表「国内電通グループ、独自のAI戦略を新ビジョンAI For Growthとして発表」
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2024/0805-010762.html>
2025年5月19日発表「国内電通グループ、AIネイティブ化を加速する独自のAI戦略AI For Growth 2.0を発表」
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2025/0519-010884.html>
- ※3 Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Action（改善）から成るPDCAモデルに、Simulation（シミュレーション）を加えた当社グループ独自のフレームワーク。AIが実行前に複数の選択肢や結果を予測することで、計画の精度向上と手戻りの削減に貢献。
- ※4 当社グループが培ってきたクリエイティブ思考や発想プロセスを体系化した独自AIモデル。
- ※5 大規模調査データや専門人材の知見をもとに、人の行動や価値観、意識を構造的に捉える当社グループ独自のAIモデル。
- ※6 2026年1月30日発表「電通総研、国内電通グループのAIソリューション開発の中核機能を集約したAI開発センター新設」
<https://www.dentsusoken.com/news/release/2026/0130.html>
- ※7 2025年7月7日発表「国内電通グループ、dentsu Japan AIセンターを発足」
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2025/0707-010909.html>
- ※8 2025年11月12日発表「電通、独自のPeople Modelが基盤のリサーチツールPeople Researchの本格運用を開始」
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2025/1112-010950.html>
- ※9 2026年4月6日発表「電通、AIで多様な生活者像を再現する新ペルソナを開発、AI For Growth Talkを運用開始」
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2026/0406-011026.html>
- ※10 2026年4月1日発表「電通デジタル、対話型AI開発ソリューション∞AI ChatをAI For Growth Canvasにリブランディング」
<https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2026-0401-000311>
- ※11 各企業のデータは厳格に分離・管理されたうえで運用されます。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 広報室 広報部
河南、山中、永野
Email : koho@dentsu.co.jp

【本件に関する問い合わせ先】

dentsu Japan AIセンター
Email : dj_ai_center@dc1.dentsu.co.jp